（様式第2号）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト　　**（基本：記載必須、チャレンジ：3項目以上記載必須）**　　【長崎県株式会社　長崎支社】

番号		項目	基本／チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	組織体制	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念及び経営目標を明文化し、社内研修や朝礼等で共有している																	
2		【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令遵守の重要性について、社内マニュアルを作成し、従業員への浸透を図っている ・コンプライアンス研修等で、従業員への啓発を行っている																	
3		【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	基本	・担当者や責任者を配置し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響について把握している ・担当部署を設置し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響について把握している ※「担当や専門部署などの体制」の整備について、必ず記載ください。																	
4		【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・行政機関や地域住民などと定期的な情報交換を行いながら、自社活動の影響を把握し、適切に対応している ・顧客・仕入先と情報交換の場を設けるなど、自社活動の影響を把握し、適切に対応している																	
5		【SDGsの普及啓発（内部）】 社内において、従業員へのSDGsに関する教育機会を適切に確保することで、SDGsの理念が社内に浸透している	基本	・SDGsの社内研修を実施し、SDGsの理念を社内へ浸透を図っている																	
6		【社会的責任】 CSR（企業等の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】CSR方針を策定し、企業活動が及ぼす影響に対して責任を持った対応に取り組む。																	
7		【災害や事故などのリスクへの備え】 自然災害や事故などを想定した事業継続計画を策定し、リスクへの備えを行っている	チャレンジ	・大規模災害や感染症を想定した事業継続計画（BCP）を策定し、自家発電装置を導入している 【予定】事業継続計画（BCP）を策定する ※「事業継続計画」の策定について、必ず記載ください。																	
8		【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者の育成に取り組んでいる																	
9		【フェアトレード】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる	チャレンジ	・生産国における労働環境や取引価格が適正であるかを考慮しながら商品の調達を行っている ・国際フェアトレード基準が守られた商品の調達を行っている																	
10	公正な取引	【公正な競争】 汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄への行動規範を作成し、従業員に周知するとともに、不正な競争に関与しない方針について、社内規定で定め、従業員研修で取り入れている ※「汚職・贈収賄の禁止」及び「不正な競争」の両方について、記載ください。また、社内規範などで定めている場合は、社内規範などに明記されていることが明確となるよう記載ください。																	
11		【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報を扱うシステムを外部インターネットと遮断した環境で使用している ・従業員研修において、個人情報保護に関するテーマを取り入れている																	
12		【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等を取得するとともに、他社の特許等を侵害していないか定期的に調査を行っている ※「他社の特許・商標」の侵害をしていないかについては必ず記載ください。																	
13		【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先等と日頃から密に情報共有を行い、人権侵害防止や生態系への悪影響について、問題意識を共有している																	
14	人権・労働	【差別・ハラスメントの禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している	基本	・差別やハラスメントを禁止する規則を作成し、従業員研修においてもハラスメント防止のテーマを取り入れている				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		

個申請事業者名を記載してください。

【留意事項】

・必ず取り組むべき項目を「基本」、県として取り組んでほしい項目を「チャレンジ」としています。

・**「基本」項目はすべて、「チャレンジ」項目は3項目以上**記載してください。
※「チャレンジ」項目については、業種により、取り組みにくい項目もありますので、無理にすべての項目に記載する必要はありません。

・当チェックリストは、県のホームページ上で公開しますので、**分かりやすく具体的に記載**してください。

・**これから取り組む項目は文頭に「【予定】」と記載**し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。
※【予定】項目は、検討段階のものでなく、実現可能性の高いものを記載してください。

・「事業者名」と「具体的な取組内容」以外は、修正や削除をしないでください（セルを保護しています）。

（様式第2号）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト　（基本：記載必須、チャレンジ：3項目以上記載必須）

【長崎県株式会社　長崎支社】

番号		項目	基本／チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
15	人権・労働	【労働安全衛生】 作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・従業員向けの労働安全衛生に関する研修会を実施している ・メンタルヘルスに関する研修会を実施し、職場内での理解を促進している													
16	人権・労働	【ダイバーシティ経営】 多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・社内で活躍する多様な人材のインタビューをホームページに掲載し、多様な人材を確保に努めている ・英語による採用ページを開設し、外国人人材の確保に努めている													
17	人権・労働	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職種や役職に応じた研修を実施している ・外部研修の受講や各種資格の取得など、社員の教育機会を確保している													
18	人権・労働	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働、同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一賃金同一労働ガイドラインに沿った体制の整備を行っている													
19	人権・労働	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる	基本	・職員の健診受診率100%達成に向けた取組を行っている ・【予定】長崎県と協会けんぽ長崎支部が共同で実施している「健康経営宣言」事業に参加する													
20	人権・労働	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るライフワークバランスを推進している	基本	・週1回ノー残業デーを設定し、定時退社を呼び掛けている ・有給休暇の取得促進を図るため、月1回取得状況の確認を行っている													
21	人権・労働	【DXの推進】 ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる	チャレンジ	・書類の電子化等を進め、従業員のテレワーク体制を整備してい ・DX推進の担当者を選任し、担当者を中心とした社内業務の効率化に取り組んでいる													
22	環境	【廃棄物・有害化学物質】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる	基本	・自社が排出する廃棄物や有害化学物質について、廃棄物処理業者委託するなど適切に処理している													
23	環境	【エネルギー・温暖化】 自社のエネルギー使用量や温室効果ガスの排出量を把握し、その使用量削減や排出量の抑制に取り組んでいる	基本	・電力使用量や温室効果ガスの排出量を把握し、削減に取り組んでいる ※使用量・排出量の「把握」及び「削減」の両方について、記載ください。													
24	環境	【環境配慮】 自社活動において、環境に配慮した製品の取り扱いに取り組んでいる	基本	・エコマーク認定商品を使用している ・生分解性プラスチックの利用など環境に配慮した製品を使用している													
25	環境	【3Rの推進】 限られた資源を有効利用するため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組んでいる	基本	・ペーパーレス化及び裏紙の使用を推進している ・生ごみを処理し、堆肥として再利用している													
26	環境	【水の管理】 自社の水の利用状況を把握し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・水道の使用量を把握し、従業員へ可視化しながら、節水に努めている ※「使用量の把握」及び「利用効率の改善（節水など）」の両方について、記載ください。													
27	環境	【再生可能エネルギーの利用】 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用を行っている ・再生可能エネルギー由来の電力の調達を行っている							7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13 13.1 13.3

個申請事業者名を記載してください。

【留意事項】

・必ず取り組むべき項目を「基本」、県として取り組んでほしい項目を「チャレンジ」としています。

・「基本」項目はすべて、「チャレンジ」項目は3項目以上記載してください。
※「チャレンジ」項目については、業種により、取り組みにくい項目もありますので、無理にすべての項目に記載する必要はありません。

・当チェックリストは、県のホームページ上で公開しますので、分かりやすく具体的に記載してください。

・これから取り組む項目は文頭に「【予定】」と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。
※【予定】項目は、検討段階のものでなく、実現可能性の高いものを記載してください。

・「事業者名」と「具体的な取組内容」以外は、修正や削除をしないでください（セルを保護しています）。

（様式第2号）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト　　（基本：記載必須、チャレンジ：3項目以上記載必須）

【長崎県株式会社　長崎支社】

番号		項目	基本／チャレンジ	具体的な取組内容	対応する主なSDGsの17のゴールと169のターゲット
28	環境	【環境マネジメントシステム】 ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001を取得している ・エコアクション21を取得している	
29		【環境情報開示】 環境の取組に関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社の環境の取組に関する情報について、ホームページ等で開示している	
30		【天然資源の持続的利用】 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等、プランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物）を利用している	
31		【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる	チャレンジ	・規格外の農産物の活用に取り組んでいる ・フードドライブ活動に参加している ※企業・団体の活動としての取組を記載ください。	
32		【森林資源の循環利用に向けた取組】 植林等、持続的な森林利用への取組を行っている	チャレンジ	・FSC認証を受けた紙を使用している ・【予定】県内における植林への取組に参加する	
33		【海洋ごみ】 海洋ごみの削減や海洋汚染の防止に貢献している	チャレンジ	・毎年、社員一同で海岸清掃活動を行っている ・海洋投棄パトロール活動に参加している	
34		【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している	チャレンジ	・従業員の自家用車での出勤を原則禁止し、公共交通機関の利用を促進している ・【予定】社用車の50%を電気自動車にする	
35	社会・地域貢献	【製品・サービスの安全性と品質確保】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している	基本	・ホームページなどにより、顧客からの声を聞く仕組みを構築し、品質の確保に努めている ・製品が安全に使用できるよう、取扱説明書で明示している	
36		【ユニバーサルデザイン】 誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている	基本	・ユニバーサルデザインを考慮した製品やサービスの提供を行っている ・施設整備において、〇〇などバリアフリーに対応した環境整備を行っている（段差の解消、手すりの設置、自動ドア、多機能トイレ、エレベーターなど）	
37		【地域への参画】 地域の自治・福祉・防災活動や寄付、ボランティアなどの社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本	・地域の自治活動や防災活動に参加している ・地域でのボランティア活動に参加している	
38		【地域資源】 地域産物等の地域資源を積極的に利用している	チャレンジ	・長崎県産の原材料を優先的に利用し、地産地消を推進している ※県産材や県産品の積極的な利用について、記載ください。	
39		【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・社会課題（〇〇）を解決するために、〇〇を開発し、展開している ※具体的な社会課題を例示のうえ、記載ください。	
40		【インターンシップ等の受入れ】 職場体験やインターンシップの受入れ、出前講座の実施など地域の児童・学生に対し、学びの場を提供している	チャレンジ	・毎年、地元の中学生の職場体験の受入れを行っている ・【予定】今年度から毎年、インターンシップを受け入れる	
41		【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組を行っている	チャレンジ	・県内の学校を卒業した学生を積極的に採用している ・県内出身者のUターン就職を受けて入れている	
42		【県や国の各種登録・認定制度を受けている】 （例）Nぴか企業認定／えるぼし認定	チャレンジ	・Nぴか企業の認定を受けている ・くるみん認定を受けている ※会社（組織）として、受けた認定について記載ください。	3 4 8 9 12

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

個申請事業者名を記載してください。

【留意事項】

・必ず取り組むべき項目を「基本」、県として取り組んでほしい項目を「チャレンジ」としています。

・「基本」項目はすべて、「チャレンジ」項目は3項目以上記載してください。
※「チャレンジ」項目については、業種により、取り組みにくい項目もありますので、無理にすべての項目に記載する必要はありません。

・当チェックリストは、県のホームページ上で公開しますので、分かりやすく具体的に記載してください。

・これから取り組む項目は文頭に「【予定】」と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。
※【予定】項目は、検討段階のものでなく、実現可能性の高いものを記載してください。

・「事業者名」と「具体的な取組内容」以外は、修正や削除をしないでください（セルを保護しています）。